

「眠っていた空き家」が「子育て家族のマイホーム」へ 福岡県が取り組む『空き家再生子育て応援事業』とは？

■はじめに：なぜ、今この事業なのか？

近年、新築住宅価格の高騰により、若い子育て世帯が理想の住まいを手にするのが難しくなっています。一方で、地方では空き家が増加し、防犯や防災、地域の景観維持といった社会課題が深刻化しています。福岡県では、この「住宅価格高騰」と「空き家問題」という二つの課題を同時に解決するため、新たな官民連携プロジェクト『空き家再生子育て応援事業』を始動しました。

■事業の3つの柱

本事業は、以下の3つの連携によって成り立っています。

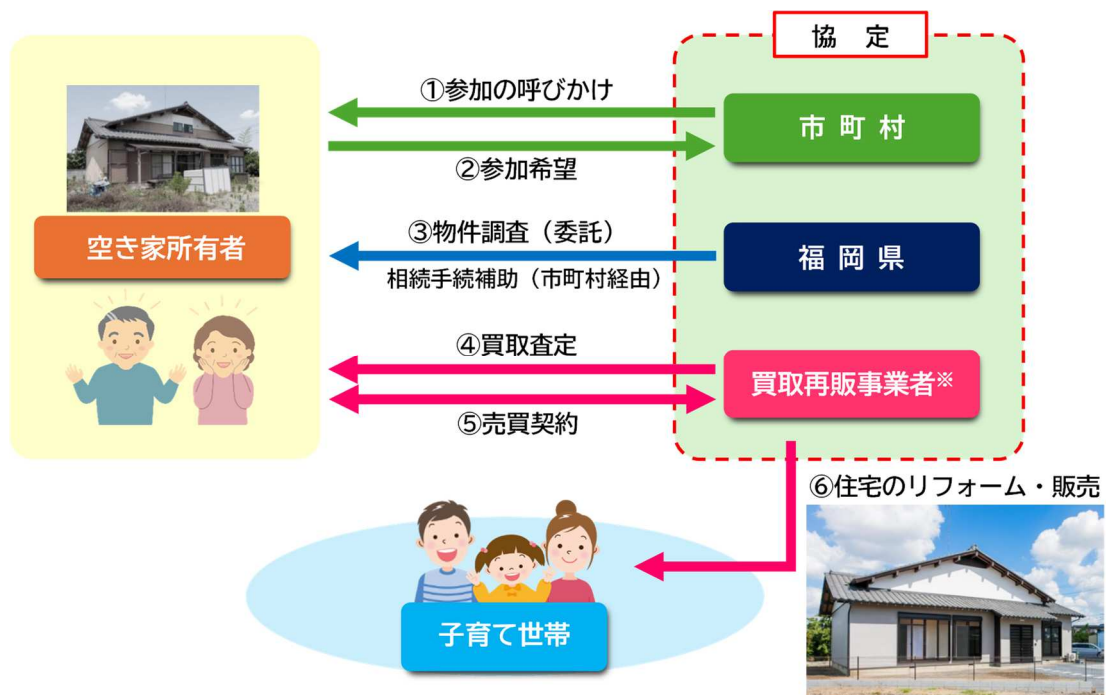
1. 「空き家の有効活用」：増え続ける空き家に光を当て、適切な改修を行うことで、資産価値を再構築します。
2. 「子育て世帯の応援」：再生された良質な住宅を、子育て世帯が無理のない価格で購入できる環境を提供します。
3. 「地域活性化」：若い世代が地域に定住することで、まちに活気を取り戻し、持続可能なまちづくりを目指します。

■事業スキーム：県・市町村・民間事業者のチームプレー

この事業は、県と市町村が空き家の現状を把握し、空き家所有者の売却を後押しするとともに、民間（買取再販事業者）のノウハウを活かして再生する「官民一体」のプロジェクトです。

- 県：事業の全体統括とスキームの構築、物件調査、相続等手続補助のための財源確保。
- 市町村：空き家の掘り起こしと、所有者に対する事業参加の呼びかけ・連絡調整。
- 民間事業者：専門事業者の知見を活かした「買い取り・リフォーム・販売」。

空き家を、「子育て世帯が暮らす」ことを前提とした価値ある住まいへと生まれ変わらせるとともに、地域に若い世帯の移住を呼び込む画期的な取り組みです。



※買取再販事業者

中古住宅を自社で買い取り、リフォーム等により価値や機能を向上させて販売する事業者

■「子育て世帯に魅力的な住宅」へのこだわり

本事業で再生される住宅には、単なる修繕にとどまらない、子育て世帯が笑顔で暮らせるための工夫が施されます。例えば・・・

- 「見守りやすい間取り」：小さなお子様から目を離さず家事ができる、開放的で広い空間へ。



- 「家族団らんのバスタイム」：親子で一緒に入浴しても窮屈さを感じない、広々とした浴室への改修。



- 「生活の利便性」：子どもの乗せ降ろしや共働き世帯などに配慮した、2台以上止められる広い駐車スペースの確保。



このように、地域の空き家が「いま求められる住宅」へとアップデートされます。

■地域の魅力と一緒に住宅を販売

本事業で住宅を販売する際には、行政がその地域の魅力や自治体提供の子育て支援策等を一緒にアピールします。「住宅」というハードウェアだけでなく、「暮らし」というソフトウェアをセットで提案することで、子育て世帯が地域に移り住むことへの安心感につながります。

■事業実施エリアと想定戸数（令和8年度）

本年度は以下の市町村で実施します。

- 飯塚市、柳川市、遠賀町、築上町
（※令和9年度以降の実施エリアは未定）

また、本年度中に再生する空き家の数は**70戸**を想定しています。

■事業スケジュール

今後、空き家所有者の参加意向を確認できしだい、概ね以下のスケジュールで進めていきます。

- 令和8年7～11月 空き家の調査
- 令和8年9～12月 査定額の提示、買取手続
- 令和8年10月頃～ リフォーム・販売

【お問い合わせ先】

福岡県 建築都市部 住宅計画課

TEL：092-643-3732（直通）

担当：成富、宗、横尾